

この課では「食べて」「歌って」「行って」など、日本語で「～して、～して…」と文を続ける動詞の形(テ形)を学びます。

ポイント

どうし 動詞のテ形「～て」は、どうし ごき がた 動詞の語基C型に、ごびせつじ テ形の語尾接辞 $-i^1$ を付ける。

1. テ形

テ形の接辞 $-i$ は、語基C型に接続します。

表1を見てください。例えば、①語基A型(基本形)が母音で終わる語(例:*abi*²「呼ぶ:A型」)は、語基C型は母音 t で終わる形になります(例:*abit*¹「呼ぶ:C型」)。④語基A型(基本形)が t で終わる語(例:*mat*¹「待つ:A型」)は、語基C型では ch で終わる形になります(例:*mach*¹「待つ:C型」)。

表1. 語基の末尾音の変化

語基の末尾	① 母音 終わり	② s 終わり	③ k 終わり	④ t 終わり	⑤ g 終わり	⑥ n 終わり	⑦ m 終わり	⑧ b 終わり
例	<i>abi</i> 「呼ぶ」	<i>nas</i> 「産む」	<i>hak</i> 「書く」	<i>mat</i> 「待つ」	<i>uig</i> 「泳ぐ」	<i>sin</i> 「死ぬ」	<i>kam</i> 「食べる」	<i>asjib</i> 「遊ぶ」
語基A (基本形)	母音	s	k	t	g	ny/n	m	b
語基B	母音	s	k/c	t/c	g/z	n	m	b
語基C	母音 t	ch	ch	ch	j	j	d	d

※「/」斜線で区切っているのは、左が西部の上平川方言、右が東部の国頭方言を併記しています。

- $-i$ は接辞のマークです。
- 語根だけの形を、ななめ文字で表します。語根だけでは単語は成り立ちません。



テ形は、動詞の語基C型に接続するので、*abi*「呼ぶ」のテ形は、語基C型 *abit* にテ形の接辞 *-i* が付いて *abit-i*「呼んで」となります。*mat*「待つ」のテ形は、語基C型 *mach* にテ形の接辞 *-i* を付けて *mach-i*「待って」となります。表2は、8つの語基タイプごとの、C型への変化とテ形の形を、具体例とともに示したものです。

表2. 語基の変化とテ形

語基A型	例	語基C型への変化	テ形
① 母音終わり	<i>abi</i> 「呼ぶ」	母音 → 母音 t	<i>abit-i</i> 「呼んで」
② s 終わり	<i>nas</i> 「産む」	s → ch	<i>nach-i</i> 「産んで」
③ k 終わり	<i>hak</i> 「書く」	k → ch	<i>hach-i</i> 「書いて」
④ t 終わり	<i>mat</i> 「待つ」	t → ch	<i>mach-i</i> 「待って」
⑤ g 終わり	<i>uig</i> 「泳ぐ」	g → j	<i>uij-i</i> 「泳いで」
⑥ ny/n 終わり	<i>sin(y)</i> 「死ぬ」	n(y) → j	<i>sij-i</i> 「死んで」
⑦ m 終わり	<i>kam</i> 「食べる」	m → d	<i>kad-i</i> 「食べて」
⑧ b 終わり	<i>asib</i> 「遊ぶ」	b → d	<i>asid-i</i> 「遊んで」

発音してみよう!

テ形は、しまむにの動詞を^{どうし}理解する上で、^{りかい}カギとなる形です。テ形と一緒に、^{いっしょ}C型の動詞の^{がた}語基を、^{どうし}少しづつ覚えていきましょう。

あびてい
abit - i
呼ぶ -テ形
よ
「呼んで」

なち
nach - i
産む -テ形
「産んで」

しじ
sij - i
死ぬ -テ形
「死んで」

はち
hach - i
書く -テ形
「書いて」

まち
mach - i
待つ -テ形
「待って」

ういじ
uij - i
泳ぐ -テ形
「泳いで」

かでい
kad - i
食べる -テ形
「食べて」

あしでい
asid - i
遊ぶ -テ形
「遊んで」

練習問題

次の動詞の^{どうし}テ形を予想して書いてみましょう。

(1) **nibu** 「眠る」 → () 「眠って」

(2) **furus** 「殺す」 → () 「殺して」

(3) **ak** 「歩く」 → () 「歩いて」

(4) **tat** 「立つ」 → () 「立って」

(5) **fug**³ 「(船を)こぐ」 → () 「(船を)こいで」

(6) **num** 「飲む」 → () 「飲んで」

(7) **tub** 「飛ぶ」 → () 「飛んで」

3 fuig, fuugという地域もあるようです。

